

障害者に仕事を

意識を喚起し——進んで行動をへの
職業奉仕による新たな機会

Jobs for the disabled ——
A new opportunity for Vocational Service to
Create Awareness and Take Action



Frank Devlyn

RI会長 フランク・デブリン

創立当初から、ロータリーは職業奉仕の促進ならびに職業における高い倫理的規範を保持させていく指導者でした。10月の職業奉仕月間に当たって、私はロータリアンの皆さんが、恵まれない人や障害を持つ人たちのために雇用の機会を設けるよう要請します。地域社会のビジネス・リーダーとして、あなたの関心と触れ合いが困難の連続した人生を送っている人たちに明らかな違いをもたらすことになるのです。

機会の欠如が最大の壁

WHO（世界保健機関）では、世界人口の10%が何らかの障害を抱えていると推定しています。さらに、これら障害を持った人たちの80%が発展途上国で暮らしており、このことは国際ロータリーのような組織の活動を、より不可欠なものにしています。個人の可能性を制限するのは障害ではなく、機会の欠如です——障害そのものではありません——機会の欠如が成功への最大の壁になっているのです。

ロータリアンとして、私たちは自分の仕事

関係や手腕を活用し、自分たちより恵まれない人たちを救済することのできる理想的な立場にいます。人の生い立ちや経歴は、自信、自主性そして個人の能力を形成するのに重要な役割を担っているのです。積極的に企業や他の奉仕団体と協力しあうことにより、私たちは特別な訓練や教育、雇用を必要としている人たちに、職業に従事する無限の機会を提供できるようになるのです。

ロータリーが障害を持った人たちに職業訓練を提供しているグッドウィル・インダストリーズ（1910年法人化された米国のNPO）のような組織と協力しあうことが大切だと、私が感じている理由はここにあります。私は、このような組織の世界的な委員会の一員として奉仕することを誇りに思っています。ロータリアンとして、私たちは障害者と恵まれない人のための雇用機会を自分自身の会社に設けることができ、地域社会における他のビジネス・リーダーたちの見本となれるのです。

障害者に彼らが受けるに値する尊厳を兼ね備えた機会を、私たちは共に作りだすことができるのです。

求められる高レベルの職業奉仕

私はまた、最低でも1,000ロータリークラブが障害を持つ人たちのために雇用の促進および提供を目的とした、ロバート S. “ボブ” スコット M.D.元R I 副会長が委員長を務める、障害者雇用促進グループを任命しました。私たちは、2002年までに少なくとも50万の雇用機会をつくりだすため、各クラブが地域の経営者や職業訓練所、公共の社会事業施設と協力しあうことを奨励します。すでに世界中の多くのロータリークラブが、アフリカの職業訓練施設からアジアの超小規模企業救済活動まで、障害者が有意義な仕事を探し出すための職業訓練のプロジェクトを支援しているのです。

ロータリアンで、米国インディアナ州の教育者ヤン・ウー・カン氏は逆境に打ち勝った輝ける見本です。「ロータリークラブとR Iのロータリー財団の支援に感謝しています」。ヤン・ウーは彼の母国である韓国の大学に通った最初の盲目学生だったのです。後に彼はアメリカに移り住み、博士号を取得した最初の盲目の韓国人になり、今日では、彼は障害を持った人たちの率先した擁護者の一人になっています。

職業上の成功がもたらしたもう一つの前駆例は、ロータリーの支援による村落銀行プログラムおよびマイクロクレジット・プロジェクトです。村落銀行は少額で低利率のローンを設けることによって、恵まれないグループが地方や都会において将来性のある事業を起

すのを援助しているのです。また村落銀行は、独自の後援を貧しい女性たちに施し、彼女たちが貧困の悪循環から抜け出せるように務めています。世界中のロータリー地域社会共同隊の活動は、このような小規模の事業を始めたり、支援の確実な力となっています。

私たちは可能性に輝いている新しい世紀を迎えようとしています。共に、意識を喚起し——進んで行動をして、恵まれない人々や地域社会——つまりは地球社会全体のためになる職業奉仕をさらに高いレベルに持っていきましょう。(R I 指定記事)



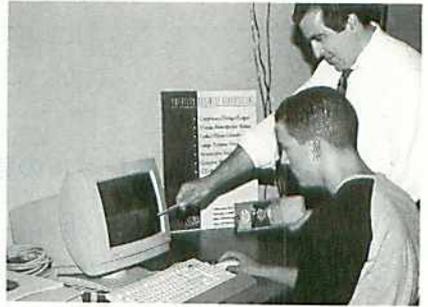
フランク J. デブリン
2000-01年度R I 会長



Vocational Service Month

未来につながる職業奉仕

ロータリアン誌10月号より



1998年6月、米国イリノイ州ネイパーヴィルRCのアンディ・パレストラ氏が職業奉仕委員長に就任した時、彼はロータリアンが地元の学校の学生たちと一緒に意義のあるプロジェクトを実施することはロータリークラブにとって、大切なことだと考えました。「私は、自分の大学生活の日々を思い出しました。最初はエンジニアになるために勉強をしました。その後工業学科から機械学科へと専攻を変え、最終的に就学中に体験したいいくつかの仕事が参考になり、土木工学を選んだのです。従って、私は子供たちが高校に通っている間に現実の社会の一部を経験させてあげられるプログラムを確立することは有益だと思ったのです。クラブは、地域内の事業や専門職に携わる人たちが、教室に向き、生徒に現実の仕事について信頼できる意見を与えてくれるよう、要請すべきです」とアンディは話しています。

未来の労働力の開発

ちょうど同じころ、アンディはネイパーヴィル・サンライズRCの職業奉仕委員長でネイパーヴィル・コミュニティー・ユニット学区203の企画および地域関係の責任者のメアリー・アン・ボボスカイ氏から電話を受けました。学区におけるメアリー・アンの役割の一つは、地域内に事業と教育に関して240以上のパートナーシップを展開させ、監督することです。アンディとメアリー・アンは、ネイパーヴィル地区の商工会議所の教育委員会とデューページ郡教育・職業団体に参加を促し、アンディたちの案を採用してくれるようにしました。

2つのグループはプロジェクトに関心を示し、

それによってアンディとメアリー・アンは職業考察チームを組織することになったのです。

「私たちは、年に一度の就職相談日より効果があるとみました。その代わりに、教室での説明会から始まり、指導、現場訪問、模擬就職そして実習訓練を提供していこうと決めました。ボランティアとして参加してくれる事業家と生徒たちの間で継続していける関係をつくりだすような職業奉仕プロジェクトにしたかったのです」と、アンディは言っています。

ネイパーヴィル商工会議所のプログラム部門のジェニー・ゲイツ副会頭は、強力な支援者であり、次のように述べています。「職業考察プログラムを通して、私たちも未来の労働力の開発に携わっているのだと感じています。私たちは、このような若者たちが成功するために必要な能力開発の手助けをしたいのです。そしていつの日か、彼らは地域のリーダーになることでしょう」。アンディとメアリー・アンは、地区の4高校の校長と就職相談員全員と会い、彼らにチームの重要なメンバーとして、参加してもらいました。「就職相談員たちは、私たちにとって貴重な仲介者でした。彼らは協力してくれる教師を探し、興味を持たせることによってプログラムが動き始めるようにしてくれたのです」。メアリー・アンによると、プログラム初年度の1999-2000学年度の期間中、25人のロータリアンと商工会議所会員がいくつかの教室で説明会を開き、850人以上の生徒と交流を持つことができたそうです。

「素晴らしい年になりました。ビジネス・リーダーたちは身近で時流に沿った話をしてくれ、

生徒たちがこれらの情報を自分たちの先生以外から聞いたのは、大変貴重なことでした。生徒たちは興味を持って話を聞いていました」と、ウォーボンジー・バレー高校のジョン・ドーリンガー職業コーディネーターは言っています。説明された事業と専門職業は、生活援助、園芸、財務、改築、人的資源、法律、飲食関係それに軍隊などが含まれていました。

職場訪問と模擬就職の機会を提供

ネイパーヴィル中央高校の就職センターのリンダ・アーネス助手は、プログラムに参加して同じような貴重な経験を持つことができました。

「私たちは、地域に還元することを望んでいるロータリークラブと商工会議所から15人のゲスト・スピーカーを招きました。デービス自動車のオーナーで、ロータリアンのアート・デービスは実習教室で、彼がどのようにして自動車業界に参入したかを話してくれました」。

「ビジネス・リーダーたちは話をしてくれただけでなく、彼らは話に興味をもった学生たちに自分の名前や連絡先を教えてくれたのです。さらに何人かのロータリアンは、学生の助言者になることを申し出、また彼らの事務所への訪問と模擬就職の機会を提供してくれました」。

ネイパーヴィル北高校のライアン・ハッパード主任教師は、自分が担当している会社法初級クラスの中に職業考察プログラムを取り入れました。ネイパーヴィル・サンライズRCの会員で、コリンズ法律事務所のシャウン・コリンズ最高責任者は、たびたびこのクラスを訪れて協力していました。「コリンズ氏は、大体週に3回も教室を訪れ、今話題になっていることを私たちの授業内容に合わせて解説してくれました。ですから、私たちはエリアン・ゴンザレス君の事件やマイクロソフト社について話し合うことができました。また彼は、法律に関して私たちが関心を抱いていることについて議論をする場を設けてくれたのです」。

この授業は最終課題として、生徒たちを弁護士に見立てた模擬裁判を開廷し、ロータリアンのコリンズは控訴裁判官の役を演じ、生徒たち



模擬裁判で弁護士を演じる女生徒

と論争しました。「このプログラムでやっていることは、私たちの日々の暮らしにも本当に役立ちます。ロータリアンのコリンズは、私たちがテレビで知ることができる以上の法律の様子を教えてくださいました。彼は私たちに、保険法、会社法、それに遺言検認法についても教えてくださいました。また、倫理的な弁護士を目指すこと、そして家族を第一に考え、自分の子供たちと一緒に過ごす時間を持つことについても、彼は話してくれました」とライアンは述べています。

学校に戻ったロータリアン

さらに職業考察プログラムは、ロータリアンと若者がお互いに触れ合う機会を与えるものです。「このプログラムは、ロータリアンに学校に戻る絶好の機会をもたらしています。多くの人がもう何年も学校から遠ざかったままになっているはずであり、現在の教育を知りません。私の考えでは、学校教育の将来はその地域社会と地域指導者の支援にかかっています」。

ネイパーヴィルRCの会員でネイパーヴィル・コミュニティー・ユニット学区203の監督者、ドナルド・ウエバー博士は職業考察プログラムの強力な支援者です。「ロータリアンとして、また学校監督者として私は、地域の事業家が学校と密接な関係を持つことはとても大切なことだと信じています。職業考察プログラムは、生徒たちが生涯の旅に向けての準備にあたり、ビジネス・リーダーが就職と雇用の機会について明確な情報を提供することを可能にしているのです」と彼は語っています。(RI指定記事)

私にとっての 職業奉仕

国内35地区の各地区から1クラブを無作為に選び、入会3年未満と3年以上の会員1人ずつに、自分の考える・自分が行っている職業奉仕についてうかがいました。

あなたにとっての職業奉仕とは？

今月は、職業奉仕月間です。各個人で職業奉仕について考えてみませんか。各クラブで、お互いに職業奉仕の話をしてみてください。

品質保証の徹底

第2540地区 秋田県 能代RC 中田 範彦

ロータリーに入会して1年3カ月。正直なところ、「職業奉仕」といわれても「ハテ！何を書けばいいのか」と悩んでいるところです。

私の職業は建設業であり、社内での業務は品質保証と全社的な管理を主としています。建設業における職業奉仕とは、「低価格で品質のよい建物を顧客へ提供すること」であると考えています。

当社では、品質管理を徹底させるため今年2月にISO9001を取得しました。その中で私は、品質管理の最終チェックを行う立場にあります。

品質保証をさらに徹底することが、顧客を満足させ、社会へ貢献することであると考える、業務にまい進し、職業奉仕を実践していく所存です。

建設業 1999年4月入会 1954年9月2日生まれ

コンプライアンス

第2560地区 新潟県 新潟西RC 加地 正樹

私が入会して、1年半が経過しました。この間に私が身を置いている損害保険業界も自由化の波が押し寄せ、「コンプライアンス」という新しい言葉が、しばしば登場するようになってきました。日本語では「法令等遵守」と少し意味不明の訳になっていますが、私にとって入会時にロータリーの心得を教えていただいた際の「四つのテスト」に照らし合わせると、この難解な言葉がよく理解できます。

1954年R創立50周年の会長ハーバート・テラーが提唱したと聞きロータリーの理念の先見性に改めて感動した次第です。今後も一層厳しい時代になると思いますが、「四つのテスト」を頭に入れ日々実践することが、私にできる最大の職業奉仕ではないかと考えています。

保険代理業 1999年1月入会 1961年1月6日生まれ

おはよう

第2840地区 群馬県 桐生中央RC 岡村 恵一

私は石材業を営んでいます。従業員数人の小さな会社ではありますが、一致団結してこの不況を乗り越えるために日夜努力しています。

朝は「おはよう！」と、私の方からあいさつし、その後、従業員が「おはようございます！」と返します。

仕事に入る前の第一歩から、みんなとコミュニケーションを取り、明るく元気に仕事ができるような環境をつくっています。そうすることにより、お客さまにできるだけ良い品物をお届けでき、それが職業奉仕につながるものだと思います。

「安ければいい！」といった時代は終わったのです。良い品物をいかに安く、みなさまに提供できるか日々努力を怠りません。

石材販売 1998年9月入会 1968年12月5日生まれ

笑 顔

第2580地区 東京都 東京新宿RC 福原 恒治

私の職業は旅行業です。

以前、あるイベントで「笑顔」を特集したことがあります。その時、多くの笑顔に教えられました。人は皆「楽しいときが最高の笑顔」になりますね。

世の中には楽しいことがたくさんありますが、旅は長い期間エンジョイできるのが長所です。旅行中だけでなく、旅行前の楽しみ、旅行後の思い出まで加えれば、2～3カ月間は楽しめます。

旅を通じて「よい笑顔」「うきうき・わくわく感」を楽しんでいただくよう、いつも心がけています。お客さまから「とても楽しかった」と言われると心からうれしくなり、少しは人のお役に立てたかなという実感を持ちます。

旅行業 1998年3月入会 1948年2月28日生まれ

木材の利用と環境保全

第2630地区 三重県 伊勢RC 世古 武弘

今、日本の林業が、危機的状況に陥りつつあります。木材需要の低下による木材価格の暴落、そして山の荒廃が徐々に進行しています。

三重県内においても、植林されずに放置される山林が、少しずつ目立ってまいりました。

木材の需要を喚起するためには、建築用材としての木材を、考え直す必要があるように思います。火に弱いということで、建築基準法においては、木材の使用にきびしい制限が加えられています。

しかし、地球規模での環境を考えなければならない21世紀にあっては、木材の利用促進を考えながら、建築基準法も考え直さなければならない、そんな時代であるように思います。

製材 1999年8月入会 1958年3月22日生まれ

声をかける運動

第2650地区 京都府 京都西北RC 宮口 龍雄

既に二十余年前、当時の学長は学生には親切にかが口癖。通信課程を有しているのも、学生はあらゆる職業と、老若男女が入り交じり、一筋縄では対応できないのである。そこで職員相互をはじめ、学生に対しても声のあいさつからをモットーにした。特に新入生には、不安解消のため積極的に声をかける運動を提唱。

まず相手の話を聞く、そして簡潔、明瞭、その上素早い対応がなされねばならない。そのため学内のさまざまな情報とシステムが十分蓄積、消化されていることが必要。電話対応には専門家による請負を行ったことはいままでもない。このような意識が学内に浸透してくると活気が生ずる。大量の情報が飛び交う今日、ごく簡単に積極的な声のあいさつからが大切ではなかろうか。私立大学 1998年7月入会 1935年5月28日生まれ

利益の追求 会社の成長

第2680地区 兵庫県 姫路東RC 岸元 俊朗

職業奉仕月間にあたり、まず会員としての職域を代表する責任を改めて認識いたしました。会社を営む以上、利益を追求し成長させていくことが職業奉仕の基本となるべきものです。その上で従業員、また、その家族の生活、同業者とのつきあい、地域社会にいかに関与していくかなどを考えることが、私にとっての職業奉仕だと思っています。

これらのことは大変困難を極めるもので厳しい場面に直面することもあります。これから先、日本は高齢化、少子化、青少年問題、さらには環境問題など、いままで経験したことがない難問につきあたるでしょう。しかし、私はロータリー活動を通じて力を合わせ、解決の糸口を見いだしていきたいと考えます。

自動車学校 1999年5月入会 1948年10月10日生まれ

職業奉仕を追求していく人生

第2690地区 鳥取県 米子RC 児嶋 敏雄

41歳になる私が、職業奉仕について考えるようになったのは、40歳を過ぎてからのことです。それまでは、昨日より今日、今年より来年いかに成長発展をするか（企業においても自分自身においても）だけを考えて仕事をしていたような気がします。

ところが、自分は何のために生きているのだろうか、自分の会社の存在意義は何なのだろうか、急に考えるようになりました。しかし、いまだ、私にとっての答えは出ていません。ただ、そのことを見極め追求していく人生でなければならないことは痛切に感じ、見極めていこうと考えています。

また、先輩方の生き方から学ばせていただくと考えている昨今です。

冠婚葬祭 1998年10月入会 1958年12月20日生まれ

時代にマッチする人材の育成

第2670地区 徳島県 鳴門RC 平石 雅浩

私は、「職業奉仕」とは、「自分の職業を通じて社会に奉仕すること」と理解していますが、今回改めて、徳島・鳴門という小さな町に身を置くアパレルメーカーの私たちにできることを考えてみると、やはり「雇用を通して社会に貢献すること」が一番であると再認識いたしました。

しかしながら、現在のように厳しい経済環境のなかでは、旧来の大量雇用・終身雇用というよりも、労働の質の転換を図り、「高いレベルの労働力を雇用する」ことが大切であると考えます。そして、会社を通じて生涯教育を行うことにより、時代にマッチする人材を育成することが、私の考える「職業奉仕」活動につながるものと信じています。

アパレル製造 2000年7月入会 1954年2月6日生まれ

おとなの責任を果たす

第2710地区 広島県 広島西RC 玉川 剛

殺人を犯す子どもたちがいる。そこまではいなくても、反社会的な行動や、見るに耐えない無作法を働く少年、少女たちがまかり通っている。「近ごろの子どもたちはどうなっているのだ」という概嘆の声とともに、原因の究明や対策についての緑台話にもぎやかだ。だがその前に、忘れてはならないことがあると私は思う。それは、今の子どもたちは、私たちおとながつくった社会のシステムと、おとなたちの生き方の所産であるということだ。

ロータリーの綱領には「事業および専門職務の道徳的水準を高めること」とある。

私にとっての職業奉仕は、「21世紀を担う若者たちのために、おとなの責任を果たすことだ」と思っている。

高等学校 1998年2月入会 1935年1月1日生まれ

私にできる職業奉仕は？

第2730地区 宮崎県 日向RC 清水 稔久

職業奉仕とは？ 『ロータリーの友』や『ガバナ一月信』を開くうち、第2730地区の林務前職業奉仕委員長が、ヤマアラシの自己中心性を例にとって書かれている一文に出会えた。

ロータリーの創設時は、物質的相互扶助や経営上の悩み、アイデア交換など身内だけのサロンであったが、自分たちだけが良ければという利己心が、仲間、あるいは地域社会を結合させず、かえって分離させることを知ることで、奉仕の精神を採り入れたこと。奉仕の精神は、親睦によるお互いの深い信頼と友情が礎となつてはじめて発揮できるものであり、職業人の集まりである特性を生かした職業奉仕こそが、ロータリーの本質であり、その他の活動の出発点であること。そして、私にできる職業奉仕は？

塗装業 2000年1月入会 1947年3月21日生まれ

例会への出席

第2510地区 北海道 小樽RC 伊藤 紘一

例会への出席。そこで体得したものを元に顧客が必要とする情報として提供する。また、その逆も生ずる。顧客や同業者は、何を望んでいるか、常に念頭に置いておくことが肝要であり、異業種会員の意見が大いに必要になる。職業奉仕とは、ロータリアン個々が行うべき奉仕であるし、自分なりに行動してきたつもりだが、体調をくずし、思うように出席できず、活動できないのが残念である。

日本では、宗教観、倫理観などで、特にこの点はなじめないことがあるように思う。数年という周期では、頭で理解しても、自発活動を伴うのは難しいのではないかと。私も諸先輩に教えるを請うても、愚者が聞く禅問答みたいなもので、ロータリーの根本を理解し切れていないのが現状。 石炭配布 1988年7月入会 1941年8月13日生まれ

歯はみんなのおともだち

第2520地区 岩手県 北上西RC 赤坂 孝夫

「虫歯は**ばい菌**でできるよ」、でもね「みんなの体の中には、アンパンマンがいるから大丈夫」「口の中をきれいにして元気に遊ぼうね」。なんとか知ってほしい私の言葉を、輝く瞳で吸収している。課題学習に歯科予防保健は最適なものと言われ、生活習慣病と定義された多くの疾患は、歯の刷牙習慣化によって、その他の原因にも伝播すると思われます。

奉仕活動で心に残るのは知育・体育・徳育に接触するときで、いつの時代にも必要な人間性、活力あふれる創造性を培ってほしい、そんな思いが「ありがとう」と歯ブラシを受けとる園児の手に、ぬくもりにしみ込んでゆく。「歯はみんなのおともだち」大きな声で「テーマ」を唱和した顔・顔。細やかな一隅に私はいる。

歯科医 1988年1月入会 1936年2月20日生まれ

つぎの仕事に……

第2560地区 新潟県 新潟西RC 佐藤 雅

私の職業分類は建築設計である。安全で快適な建物を経済的に設計することが、私の職業奉仕といえよう。この場合、安全とは地震・風水害・火災・盗難などに対してであり、快適とはデザインや住み心地の良さなどのことであろう。経済的とは、いろいろな検討をして、省エネ等のランニングコストを含めた総工費を5%でも減らすということである。もちろん、バラックを造るということではない。

しかし、ここにジレンマがある。ご承知のとおり、設計料は総工費の何%で決まる。設計者がいろいろ検討して総工費を減らした設計をすれば、発注者は喜ぶであろうが、設計者にとっては苦勞して自分の設計料収入を減らすことになる。

次の仕事につながると思うしかないようだ。

建築設計 1991年5月入会 1942年11月29日生まれ

人間の幸せの具現化

第2790地区 千葉県 柏RC 山浦 修治

「四つのテスト」に始まり、その後の職業宣言で示唆されているとおり、職業奉仕の基本としては、職業モラルに基づき自身の業を実践することが求められています。

医療職の一端に携わる立場としては、治療方針を決める上での基本的な考え方として、治療を受ける人にとって、その治療方針がベストであるか？ また相手の立場に立ち、自分だったらその治療を受けることを望むか？ と自身をテストしてから説明し、同意をいただいて治療に移ることを実践するように心がけています。

また専門職務に携わる身として考えれば、それぞれの職務を通じて人間の幸せを具現化することこそ、職業奉仕のあるべき姿と理解しています。

歯科講師 1995年11月入会 1949年1月28日生まれ

お客さまの顔を思う

第2800地区 山形県 酒田スワンRC 菊地 安範

私の職業は、結婚式場、仕出し専門店、スーパー、和洋食料理店などへの魚の販売です。魚の調理配達を通じて思うのは自社の魚を食するときのお客さまの顔です。長男であるが故に本人の意とは関係なく後継ぎに決まっていた。しかし今45歳になり、本当に職業を通して社会に奉仕している自分を感じます。

とかく資源の枯渇を叫ばれる水産業界。生産者への生活安定、消費者への安定供給、地球規模の資源育成、問題は山積しています。こうした業界の中であって、ロータリークラブの中の職業奉仕の追求は、今後必ず大きな指針となって私を導いてくれるものと確信しています。皆さん、今一度、自分にとっての職業奉仕を考えてみませんか。

鮮魚 1995年4月入会 1955年10月24日生まれ



イラスト・相模原中RC 市村章

誠意ある適切な診療

第2810地区 宮城県 白石RC 柿崎 六郎

「四つのテスト」が、職業奉仕の精神そのものと思っています。

私は小児科開業医で、開業32年になります。若いときに比べ、だいたい患児や親の気持ちが変わるようになりました。

診察室で診る裸の患児は、どんな家庭の子でも、皆同じくかわいらしい。患児を、わが子のように思い、患児の両親の思いを常に感じて診察しています。

ただし、親が非常識であったり、無理なことを要求するときは、応じませんし、過剰なサービスをするつもりはありません。

誠意ある、適切な診療が、私の職業奉仕と思っています。

小児科医 1971年1月入会 1933年7月9日生まれ

自己錬成に向かって

第2830地区 青森県 弘前西RC 須藤 廣志

今年度のRIテーマとメッセージを何度か繰り返し、目を通してみるのだが、「職業奉仕」について具体的な提言がなされていないように見受けられる。ロータリアンであるならば、今更職業奉仕について、どうのこうのということもあるまい、ということなのだろうか。

しかしながら、昨今、自らの職業についての誇りも自覚もないような企業不祥事が続出している現状にあって、職業奉仕についての意識をなお一層高める必要がありはすまいか。

ロータリーの原点ともいえる、職業を通して他人に奉仕し、他人を喜ばせ、他人に幸福をもたらすべく、高い倫理観と社会的責任感、そのための自己錬成に向かって、今こそ「意識を喚起し、進んで行動を」起こす時であると思う。

神職 1988年8月入会 1947年3月29日生まれ

自分の仕事の経験が役立てば

第2830地区 青森県 弘前西RC 荒木 一敏

ロータリーに入会して4年になりますが、私の考えている職業奉仕について、お話ししたいと思います。個人で営業していますと、仕事柄、どうしても交際範囲が限られてきて、自分の中で新しい発想、向上心、そして活性化が鈍くなってきたように感じていました。

その時期にロータリー入会の話があり、例会に出席し、いろいろな業種の方との交流や卓話などの中から、それぞれの発想や物の見方、価値観の違いを教わり、そして学び、それにより自分が活性化してくるのを感じました。各専門分野の会員が仕事を通しての実践や考え方が他の会員に少なからず良い刺激や影響を与えていると思います。私の専門分野での言動が少しでも会員の役に立てば幸いです。

貴金属販売業 1996年4月入会 1950年11月3日生まれ

持 営

第2580地区 東京都 東京新宿RC 近藤 英二

例会15年間皆出席の表彰を受けることができましたのも、ロータリーが他の奉仕団体と異なり、自分の職業を毎日一生懸命行うことが、他の何よりも優先して社会に奉仕している、という基本理念があるからであります。

いま自社が得意とする事業の中で、いかにすれば、お客様、社員、株主、地域住民の方々のお役に立てるかを真剣に考え、研さんし、行動することこそ、私たち企業人の「持営」（いとなみつづける）の道と考えています。

今日までの創業34年の歴史を途絶えさせることなく、社会に貢献していることを自覚して、職業奉仕活動をつづけてまいります。

情報サービス 1983年4月入会 1937年8月10日生まれ

親切と思いやりをモットーに

第2590地区 神奈川県 横浜北RC 清水 昭

自分の職業を通じて、相手に喜ばれ、相手に感謝される行為であり、それによって得た利益を、クラブ、社会、国際奉仕というボランティア的奉仕活動を通じて、社会に還元することが、職業奉仕であると考えます。

私の場合、開業医という立場で、日々の診療を通じて、親切と思いやりをモットーとし、在宅ケアや、健康診断や、生活指導に重点をおいています。また、従業員にも参加してもらって、駅前の清掃や、老健施設の慰問、健康相談を実践しています。

さらに、会員職業の内容、奉仕活動の具体事例を広報し、事業所の見学をして相互の職場理解を深めること、職業奉仕に関する卓話、フォーラムの開催も企画中です。

婦人科医 1980年9月入会 1927年8月19日生まれ

ただひたすら聞く

第2590地区 神奈川県 横浜北RC 和田 久寿

この原稿を書いている8月は、私にとっては一年で一番忙しい旧盆が無事に過ぎ、ほっと一息ついたころでした。先代の遷化により住職の跡を継ぎ、お盆の棚経に檀家の方のお宅を回らせていただいて6年になります。今でも自分の親よりも目上の方々からいねいに頭を下げていただいたり、ときには深刻な悩みまで打ち明けられますと、こんな若輩者で申し訳ない気持ちわき起こって参ります。

せめてもの思いで努めていることは、「ただひたすらに聞く」ということです。言葉に表れない相手の本当の気持ちを聞くということです。易しいようでなかなか難しいことです。私の職業はそのものが奉仕の側面がありますが、聞かせていただいている私が奉仕されている面もございます。仏教 1997年4月入会 1962年6月9日生まれ

天職

第2770地区 埼玉県 川口RC 竹本 佳徳

個人主義の現代では、ほとんど死語になっていますが、「家職」あるいは「家業」という言葉があります。先祖から受け継いで子孫に伝える職業という、誇りと義務感とがない交ぜになった言葉です。

日本人にとって職業は、単に生活の糧を得るための手段ではなく、自分の人生そのものでした。働くことが生活であり、働けることが喜びだったのです。自分の職業に誇りと義務感もてなくなったときどうなるかは、最近の各界の不祥事が如実に示している通りです。

どのような職業であれ、社会に不必要な職業はありません。自分の選んだ職業を「天職」と心得て、職業を通じて世のため人のために奉仕しているのだという自負が何より大切です。

商業銀行 1996年9月入会 1949年6月14日生まれ

箸能回盤水

第2650地区 京都府 京都西北RC 石川 公之

私は京都西陣で先代から引き継いだ日本を代表する織物「つゞれ織」で帯地、富久沙、額ほか、美術織物などを製造販売しています。私はこの職業を天職と考え先代から引き継ぎました。

業界は昨今のキモノ離れで、その使命が徐々にうすれかけている現在、自分なりに何か行動を起こさなければならないと考えています。茶碗の中に水を入れ一本の箸で中央からゆるやかに回してみたら、やがて、その茶碗の水は大きな輪となって茶碗の中の水全体が渦巻くようになります。「箸能回盤水」。

「天職である自分の仕事にロータリーの誠をつくすこと」このロータリーの誠、すなわち「四つのテスト」を根っこに、もう一度実践することを考えています。

つゞれ織製造 1978年7月入会 1937年2月28日生まれ

背丈に合った仕事を誠実に

第2630地区 三重県 伊勢RC 保津 直巳

職業奉仕は、ロータリアンが、それぞれの生活基盤を構成している職業を通じて「四つのテスト」の規範に則って、その奉仕を行うことであり、さらに、その奉仕がクラブの輪になり、発展してクラブと会員双方が一体となってこそ職業奉仕を実現できるものと思います。

私は、税理士を職業としていますが、まず自分の背丈に合った仕事を誠実に遂行し、その背丈は、日ごろ、絶えず自己研さんに努め、積み重ねることにより、人間的、知的な面において成長また変化するものと信じ、これが、職業奉仕の原点と考え、実行しています。職業上、社会奉仕と密接な関係がありますが、職業奉仕を全うすることによって、反射的に社会奉仕にも大きく貢献共存できるものと信じています。

税理士 1989年2月入会 1932年10月31日生まれ

職業のあるべき姿を

第2690地区 鳥取県 米子RC 永井 伸和

職業の選択に悩む私に「君がどこに座るかより、そこで何を考えるかが問題だ」と言った恩師。小店が創業100年を迎えた年、『百年史』を編さんし、地域の皆さまに生かされてきた大恩を知った。100年記念の読者座談会を地元紙が開き、「市立の図書館をぜひとも」「地方の出版も育てよう」「文化活動の拠点に」と小店への提言を示した。

祖父、今井兼文は95歳で亡くなるまで、今井、田江、永井の3人の孫を集めた毎月の昼食会で、「一人一業」「存続することは変化すること」と語り、「本の学校」の設立が遺言となった。創業120周年事業・本の学校とグループの再編成に義弟中野が参加してくれた。職業のあるべき姿を愚直に求め、不器用な4人のロータリアンが力を合わせての一步一步である。

書籍販売 1980年2月入会 1942年9月15日生まれ

成果の一端を講義

第2760地区 愛知県 名古屋名駅RC 水谷 集治

私は30年あまり「自動車の電子機械化」という仕事（職業）に従事してきた。その間、自動車業界が抱えていた環境、安全問題の解決に大いに寄与できたと自負している。

その成果の一端を地元の大学で講義している。教えながら、現在世間で話題になっている「教育改革」なるものの本質が見えてきた。政府も識者もすぐその仕組みを新しいものに変えることを改革と称している。そんな問題ではない。一言で言えば、教わる側が大きく変化しているのに教える側がその変化に応じきれていない、そこにこそ問題の核心があるのだ。

われわれロータリアンがその教える側を心底から支援(私のように現場に立つことも含めて)することは、新しい職業奉仕のひとつである。

ソフトウェア開発 1996年9月入会 1936年5月22日生まれ



イラスト・相模原中RC 市村章

職業に責任と誇りを

第2670地区 徳島県 鳴門RC 久住 高弘

職業奉仕ってなんだろう。「職業で、奉仕する」。素直に解釈すれば、雰囲気は、わかるような気がします。

しかし、職業は利益を得ることが目的で、奉仕とは、相反する。このように考えると、事は少し厄介になってきます。

ロータリー入門書には、「職業とは実は人間が、社会生活を営むための、分業を、分担すること。そこで、当然責任と誇りが生まれてくる」と書かれています。

建築設計を職業とする私は、依頼者から、多くの精神的な報酬をいただいています。常に相手を思いやる心を忘れず、職業に責任と誇りを持つことが、職業奉仕だと感じています。

建築設計 1997年8月入会 1954年6月25日生まれ

職業倫理の向上

第2720地区 熊本県 熊本東RC 須古 博信

私の職業分類は、総合病院であり、病院長として働いています。私どもの病院の理念を「医療を通じての地域社会への貢献」と定め、病院の理念に基づいた経営を実践しているところです。

入会時に「ロータリーの綱領」を拝見したとき、「医療職の使命は奉仕の精神に在り」と思っていた私にとって、自分の仕事に打ち込むことが、ロータリー会員としての務めを果たすことにつながることでないと、大いに意を強くした思いがあります。

以来、私の病院の院長室には、「職業奉仕：四つの反省」を掲げ、私の病院経営上のバイブルとして、なお一層の職業倫理の向上に向けて、毎日の業務に活用しています。

総合病院 1995年2月入会 1939年5月10日生まれ

お客さま主体

第2730地区 宮崎県 日向RC 大原 一

ロータリー入会まもなくのころ、「職業奉仕とは職業を通じて社会に奉仕することである」と教えられました。自らの職業を奉仕のための職業と考えると犠牲を強いられるようですが、お客さま主体に考えると楽しみながら職業奉仕ができるでしょう。

私の職業は製造業に属しますが、職業奉仕を考えて仕事をしたことはありません。第一に、会社の経営を考え、品質向上、安全性、新製品開発に努力しているのですが、それによりお客さまに喜んでいただき、安心して使っていただける商品づくりができれば、それは立派な職業奉仕であると確信しています。職業奉仕のための職業ではなく、自らの職業のために自己研さん、切磋琢磨することが職業奉仕につながるのではないのでしょうか。 染色加工 1990年8月入会 1943年12月30日生まれ

他人によって生かされる

第2740地区 長崎県 長崎RC 広瀬 範造

新会員として初めて職業奉仕という言葉を目にしたときは、その真意が漠然としてつかめなかったように思います。二十余年をロータリアンとして過ごさせていただいた今、よき職業人であることこそが、職業奉仕ではなかろうかと自分なりに納得しているところです。

よき職業人とは、他人によって生かされていることに気がつけば気がつくほど他人に対しても思いやりの心を持って接することが、自然と身についていく人だと思います。身につけることはむずかしいことかもしれませんが、奉仕という言葉につながるものだと信じています。

職場では「親切」と「笑顔」と「感謝」を標語にしています。柔和な雰囲気を保つことができれば、少々の難事もうまく片づいていくような気がします。〝柔和、第一主義です。 車庫業 1976年3月入会 1934年10月24日生まれ

伝統産業で街の活性化

第2860地区 兵庫県 姫路東RC 山本 一成

世界遺産「姫路城」を誇る緑多い城下町姫路市は、現在中核都市に指定され47万余の市民を有しています。毎年姫路城を訪れる観光客は90万人以上とも言われていますが、残念ながらその周辺は休憩する所もなく、また姫路名産物もないので、城見物だけでサヨナラ状況です。駅から連なる商店街御幸通りも城からやや離れていることもあって、昼夜を問わず閑散とした街並みです。

その姫路で唯一1000年も昔からの伝統を誇る白鞆し革という皮革産業があります。戦後は靴・バッグ・袋物革用などのファッション革の生産により日本市場に皮革のブームを起したのですが、平成に入りバブルの崩壊、阪神・淡路大震災による神戸長田地区の靴業

界の壊滅的な打撃により、海外製品の輸入増大となり、今やヨーロッパ各地域の有名ブランド製品に加え、中国からの安価な製品が日本市場の75%以上を占める状態で日本経済の低迷に加え業界の低迷が続いています。

姫路の伝統産業である皮革の存続と今一度の活性化を図るべく、市産業局振興課の支援を得て、本年5月に姫路の名店街御幸通りの一角に手作りバッグ工房「アトリエ千異多」世界に唯一、あなただけのブランドマイバッグをオーダーメイドできる店をキャッチフレーズに開設しました。

この店の最大目標は技術者養成で、「手作りバッグ教室」を開き多くの職人を養成し、さらに靴、衣料と範囲を広げて近い将来数多くの革製品の工房販売店を開き、地元の特産品である皮革を通して沈滞化した皮革業界と姫路の街おこしができればと願っています。

皮革配布 1993年5月入会 1935年10月10日生まれ

『友』に載った職業奉仕の関連記事

1994年から1999年までの『ロータリーの友』の記事の中から、主に職業奉仕についての理論や解説、事例を紹介した記事を列記しました。

これをもとに再読され、職業奉仕を理解する上での新たなヒントが得られればと……

(P1はヨコ組み、P①はタテ組み)

◆1994(平成6)年・『友』42巻

1月号 P⑮ 救急医療体制の充実(札幌南・須田義雄)
毎年、救急の日に救急蘇生の実技指導を実施、その全国的キャンペーンが次第に国民に定着しつつあり、効果をあげている。

P⑯ 職業奉仕は例会出席から(岸和田東・浜中雄二)
例会出席は単に職業人の親睦の場ではなく、職業奉仕を行動に移す原点である、と説く。

2月号 P62「ロータリーの綱領」の私的解釈(田辺・植田芳史) 企業家精神を発揮するだけの価値のある仕事をするときのバックボーンとして、他人の望むことをするという完全な考え方＝黄金律をロータリーの会員に広めることが、ロータリーの綱領となるのではないか。

5月号 P26～29 共に生きる喜びのために—ロータリアンのボランティア活動あれこれ

各地区ガバナー事務所に依頼し、ロータリアンのボランティア活動の事例として38人を紹介。

6月号 P⑮～⑯ 草木塚とロータリー(福島西・佐藤進) RI会長や日本のガバナーの名言を引用しながら、所属クラブの会員の職業奉仕活動の事例を紹介。P⑳～㉑ 職業奉仕か社会奉仕か(岸和田東・浜中雄二) 職業奉仕と社会奉仕の区別はつけにくい。ロータリー・ボランティア・プログラムを例に解説、区別は不要、実践のみ。

10月号 P6 私も耕している(茨木・大森慈祥)
お釈迦様と農夫の間答を引用しながら、宗教家と農家の仕事も社会の要求に応じて成り立った。どんな職業でも、社会のお役にたっていること

を自覚して、自己の職業に精を出す。その精神がロータリーの職業奉仕の基本ではないか。

P7 真実を告げるべきか どうか(福岡城東・国府敏男)

弁護士としての体験談、強盗殺人罪で起訴された容疑者に法定刑を告げるべきか、思い悩んだ末に決断させた行動規範は「四つのテスト」。

P8～11 ロータリアンとロータリアン企業のボランティア活動 5月号に続いて職業を生かした会員個人のボランティア活動の事例を15人、企業のボランティア活動の事例を23人紹介。

◆1995(平成7)年・『友』43巻

1月号 P7 ロータリーで真の友情を(諏訪・三井章義) クラブ創立間もなく、1人の会員が事業上の悩みから、自ら命を絶った。そのときの反省から生まれたクラブの教え、と「地域並びに経営問題特別委員会」の設置。不況による退会者があるのはロータリーが十分に機能していなかったと考えられる。危機に強いロータリーを。

2月号 P⑳ ロータリーボランティア考察(相模原中・八木茂) 職業奉仕部門を通して実施されているロータリー・ボランティア活動は、職業奉仕部門が独占すべきでなく、社会奉仕、国際奉仕と緊密な連携をとり、クラブの支援も肝要。

7月号 P⑬ 妻の職業奉仕(飯能・浅見榮一) 駐車場経営者のロータリアン、その妻の他人の職業をも尊重する、奉仕の意識なき奉仕、これこそ真の職業奉仕だと教えられた、と述懐する。

10月号 P7 職業奉仕—私の場合(旭川・池藤和行)

医業に携わった立場から、救急医療を中心とした総合病院を持つ夢を、ロータリーに入会してから、高齢者への医療と福祉と保健を併せ持つ施設の建設に方向転換した経緯を紹介。

P8～12 大震災と職業奉仕 阪神・淡路大震災の被災者支援、復旧活動に取り組んだ第2680地区のロータリアンの6つの事例を紹介。

P⑳ 職業奉仕を徹底させるために (天原・野川幸吉)
地区の職業奉仕委員会のメンバーが卓話の
出前と職業奉仕カレンダーを作り配布した事例。

◆1996 (平成8) 年・『友』44巻

2月号 P⑨ 「職業奉仕情報」の必要性 (松戸・
稲葉八朗) ロータリーが日本に入って3年後、関
東大震災があり、世界中から救援の手が差し伸
べられたこともあって、社会奉仕団体としての
ロータリーが強く印象づけられた。今もう一度、
職業と職業奉仕を再考すべきときではないか。

5月号 P⑧ 忙しい職業奉仕委員会 (綾瀬・中山
達二郎) クラブの職業奉仕委員長を分区ごとに
招集して、ミニ・フォーラムを開いた。職業奉
仕は自分のエゴを抑え、他利自利の葛藤を調和
する努力を重ね、理念と実践のギャップに悩む。
分かりにくいのではなく、行いにくいのだ。

P㉑ 職業奉仕の一考察 (志木・瀬川・平井前彦) 奉仕は
思いやりと優しさの心で相手に接すること、そ
の行為が職業とかわったとき職業奉仕となる。

7月号 P⑬ 人生奉仕としての職業 (八千代・鈴
木恵輔) 「ロータリーの綱領」と「職業奉仕にお
ける新方針」を取り上げて、職業奉仕の意味が
正しく理解され、尊重されないかぎり、真のロ
ータリアンはロータリーを去っていくのでは？

10月号 P6 ロータリーは例会参加からすべ
てが始まる (松戸東・石井亮太郎) 職業奉仕を行うた
めには、まず何を考え、何をなせばよいのかを
理解すること、それには例会への出席が肝要。

P7 二針三針の奉仕 (大村北・佐古英樹) 靴屋という
職業における二針三針の奉仕が信用という大きな
財産を得て大を成した事例で職業奉仕を説く。

P8~9 職業を通して社会に貢献した12の事
例と職業奉仕のための情報活動の9事例を紹介。

11月号 P20~21 職業奉仕いろいろ 『ロー
タリアン誌』10月号から転載、数々の世界のロ
ータリークラブの職業奉仕の事例を紹介。

12月号 P⑩ 大人の楽しみ (京都洛西・西村裕) 筆
者はロータリークラブで5つの楽しい奉仕活動

をしている。楽しいから長続きしているのだ。

◆1997 (平成9) 年・『友』45巻

3月号 P⑫ ロータリーの容貌 (青森・久保七郎)
ロータリーでは職業を天職と心得る点にあり、
社会的には一つの分業を引き受けたことになる。
利益追求における心の葛藤は、多くの仲間と接
することにより軌道修正され容貌も変わる。

5月号 P② 「脚下照顧」の日々を生きようー
職業奉仕の大切さを訴える (東京東・佐藤千尋) 最近
のロータリーには「職業奉仕」をないがしろに
している風潮がないか、先人たちの情熱を思い
起こし、「脚下照顧」の日常生活を通じて、ロ
ータリーの原点に生きようと説く。

8月号 P6~11 RIテーマ座談会「テーマ
の底流に流れる“職業奉仕こそロータリー”

テーマを正しく理解するための5人のリーダ
ーによる座談会で、十数年ぶりの良いテーマと。

9月号 P⑥ それが私の奉仕活動 (橋川・小林且)
輸血を拒否する団体のメンバーを受け入れて、
宗教上の自由と医師としての当然の責務との相
対に悩む。ロータリアン医師の結論は？

10月号 P6 職業で“思いやり”の普及を
(泉大津・中島治一郎) ロータリーには、他の団体に
ない誇るべき2つの宝物がある。それは1業種
1会員のルールと利己と利他の調和の哲学。

P7 職業奉仕の原点を原典に探る (米子・田村健治)
ポール・ハリスの著書『ロータリーの理想と
友愛』に「奉仕の理想の意味」を見いだした。

P8~9 あなたの職業にロータリーの心を
5つの職業奉仕活動の事例と鈴木恵輔PGによ
る本年度のテーマに関連して、原点に戻る年。

P②~④ わかちあう心ーロータリアンのいの
ちは職業奉仕 (京都・西村大治郎) お金がなくても
できるのが職業奉仕、それをロータリアン以外の
人と分かち合うこと、奉仕の理想は素晴らしい。

11月号 P⑨~⑩ 「最もよく奉仕する者」 (岡
山城・道上澤之) 会員が例会出席を強制されるゆえ
んは、そして例会場では、どのような境地を目

指すべきか？お互いに学び合う親睦の場である。
P⑩ ロータリーへの警鐘(戸畑東・菅正明) 筆者は、まだ会ったことのない他クラブの人との書簡の交換から職業奉仕の将来を模索する。

P⑬ ロータリーの心と職業奉仕(西条・土肥治右) 私たちは自己の職業とロータリーを関連づけて行動しているか、また、職業活動の中にロータリーを取り入れようと努力しているか？

12月号 P⑩ 「職業奉仕」の解説(日立・斎藤隆) 職業奉仕の理念の神髄は職業倫理を遵守すること、これを普及、浸透させることにある。

◆1998(平成10)年・「友」46巻

2月号 P11~15 「ロータリーの原点」に返って——「ロータリーの活動」を考える——

2月23日の「ロータリー創立記念日」にちなみ、吉田昭平PGの司会で5人のガバナーがロータリーの原点とその活動のあり方について語る。

3月号 P6~10 「職業奉仕」がなければロータリーではない、ロータリーの2つの標語を中心にして、田村健治PGの司会で5人のガバナーが、結局「職業倫理、に尽きると語る。

P⑫ 職業奉仕月間に思う(清水・望月龍太郎) 企業倫理があつて企業が成り立ち、そこで企業活動が始まる。一人でも多くの事業人をロータリーへ。

7月号 P⑪~⑫ 職業奉仕の意義について(八千代・鈴木重輔) 現在、日本の社会で最も要求されているのは、自らの職業における倫理化である。

10月号 P4 職業奉仕—それをあなたの仕事にしよう(RI会長・ジェームス・レイシー) ビジネスとは、仕事を履行し、職務を立派に果たすことで、ほかの人たちの生活を豊かにすることでもある。

P6 職業・奉仕・四つのテスト(児島・渡辺好敏) ロータリーでの職業奉仕の原語は Vocational ServiceでVocation(職業)という言葉は定職、稼業、事業、専門職務あるいは業務を指す。したがってロータリーでの職業とは天職の意味。

P7 職業奉仕月間に思う(東京京浜・岩井敏) 職業奉仕論を学び、それを具体的な活動に結び付け

るためには、今日の社会が、世界が何を求めているか、時代のニーズが何かを読み取るべし。
P8~11 職業ボランティアの実態調査など、職業奉仕に関連する各RCの活動事例を紹介。

◆1999(平成11)年・「友」47巻

1月号 P12~15 シェルドン……忘れ得ぬその名(前編) ロータリアン誌1955年3月号より訳・茅ヶ崎湘南・神崎正隆PG ロータリー運動に永遠に消し去ることのできない精神的な影響をもたらした人。

2月号 P18~20 シェルドン……忘れ得ぬその名(後編) 最もよく奉仕するもの、最も多く報いられるのスローガンをもたらした人。

P22~23 ロータリー思想の節目(前編) 深川純一PGと森三郎PGの対談。創立時から今に至るまでのロータリー思想の流れを語る。

3月号 P30~31 ロータリー思想の節目(後編) ロータリーには、いろいろな考え方が併存しており、その調和の上に成り立っている。

10月号 P10 職業—Vocation—から感動を(福島東・岩崎剛) 私たちは奉仕の理論が職業と人生における成功と幸福の真の基礎であることを実証することが大切である。

P11 『手続要覧』と職業奉仕(横須賀南・後藤忠雄) 1986年以前の『手続要覧』をひもとくことによって、職業奉仕に対する考え方が見えてくる。

P12 職業奉仕について(広島東南・仁田一也) 本当の意味での職業の繁栄は、もうけを目的とするところではなく、利己と利他の調和と高い道徳、倫理を通して得られるものである。

P13~17 経営の心・1 「最大となることを望まず 最良となることを望む」(千住金風工業(株)) など、ロータリアン企業が掲げる企業理念、経営理念、社是、社訓など17社を紹介。

11月号 P34~37 経営の心・2 10月号に続き、17社を紹介。